

キリシタン版のことは、ポルトガル語からのアプローチ
400年前にカトリック宣教師が日本での布教のために出版した日本語の語学書について、ポルトガル語で書かれた自筆本とキリシタン版(版本)を克明に対比。キリシタン語学書にポルトガル語の側から光を当て言語学的に解明。

キリシタン世紀の言語学

—大航海時代の語学書—

丸山 徹 著
(南山大学名誉教授)

2020年7月15日刊行 定価(本体12,000円+税) A5判・上製・カバー装・376頁
ISBN978-4-8406-2244-8 C3081 ¥12000E

キリシタンの語学書を読むために

上智大学教授 豊島 正之

キリシタン語学書は、ポルトガル語で書かれている。それは、今更言うまでもないことだ。だが、そのポルトガル語は、どこの、どのようなポルトガル語か。現代でも、ブラジルとポルトガル本国のポルトガル語は、聞いてすぐに判別出来る程に違う。まして、400年前、「自分は田舎者で言葉も洗練されていない」と自認する通事ジョアン・ロドリゲスが、日本語文法を書く際、果たしてどのようなポルトガル語を用いたのか、残された自筆写本と、キリシタン版として刊行された版本のポルトガル語を、克明に対比しようとする人は、丸山徹氏以前には無かった。

キリシタン語学書は、ポルトガル語で書かれているのだから、まずはそのポルトガル語を調べねばならない。この当然至極の仕事に誰も手を染めなかったのは、偏にその余りの困難に拠る。

ロドリゲス『日本大文典』(1604-08)は、240丁・17万語から成り、ポルトガル語を母語とする者にさえ、時に難読である。今から40年以上前、まだパーソナルコンピュータというものが存在しなかった時に、丸山氏は、その難読の本文全てを、メインフレーム(大型計算機)への手入力で文字列ファイル化し、94丁を境目に綴り字法が一変している事、しかもそれは自筆本の綴り字法とも異なると指摘した。つまり、版本は、著者ロドリゲスの綴り字を反映していないだけでなく、当時の綴り字というものは、(恐らく)組版担当者の交替によって綴り字も交替し、それは特段問題にもならない、という程度の認識だった事も判明したのである。たとえ個人の「著作」であっても、キリシタン版の「個人」の及ぶ範囲には限界がある。今ではキリシタン語学の常識となったこの事実は、40年前に丸山氏が初めて明らかにしたものである。

他にも丸山氏の明らかにされた事は挙げ尽くせないが、本書所収の論文目録を一見すれば明らかな通り、その発表は寧ろ外国語・海外誌に多く、日本語の発表も、中々入手し難いものもあって、これまで丸山論文の入手難は、我々後学に通定の悩みであった。本書も、殆どの欧文論文の収録が見送られて仕舞ったので、その点では依然として悩みは続くが、日本語論文については、ようやく読者の渴を癒やし得たのではないかと思う。

キリシタン語学書を読むには、そのポルトガル語を読まねばならない。我々は、ようやく、その最良のガイドを手に入れた処である。

【目次】

はじめに

1 キリシタン文献概観

- 1 「大航海時代」の語学書から学ぶもの
- 2 ザビエルとロドリゲス —— 16・17世紀イエズス会の言語研究
〔コラム〕ザビエルの接した文字
- 3 「古典」としてのキリシタン文献 —— その語学書について
- 4 「大航海時代の語学書」としてのキリシタン文献
〔コラム〕キリシタン語学研究のこれから (1)・(2)

2 ロドリゲス文典

- 1 中世日本語のサ行子音 —— ロドリゲスの記述をめぐって
- 2 Interpreting the interpreter
- 3 ロドリゲス日本文典におけるポルトガル語正書法 —— /aw/ の表記について
- 4 通事件天連ジョアン・ロドリゲスのポルトガル語正書法 —— /ej/ の表記について
- 5 通事件天連ジョアン・ロドリゲスのポルトガル語正書法規範
—— 語表記の「ゆれ」からの考察
- 6 ロドリゲス文典成立の背景
〔コラム〕ロドリゲス

3 キリシタン文献ローマ字表記成立の背景

- 1 キリシタン資料「開合表記」成立の背景
- 2 キリシタン資料におけるf表記をめぐって
- 3 「ポルトガル語正書法小史」補説
- 4 キリシタン文献ローマ字表記IJVUについて
〔コラム〕キリシタン資料／日葡辞書

4 コンカニ語・コンゴ語文献

- 1 Thomas Stephens とコンカニ語 —— 研究序説とその展望
- 2 コンカニ・ポルトガル語辞書二写本の関連についての一考察
- 3 コンカニ語ドチリナ・キリシタン成立の背景
- 4 コンゴ語版キリシタン要理 (1624) 第一章 —— コンカニ語版・日本語版と対照させて
〔コラム〕亀井孝／言語学と言語史

5 言語から見た近代ヨーロッパの一側面 —— 非人称構文とキリスト教

- 1 非人称構文に関する一考察 —— 「記号体系としての言語」の外から眺めてみると
- 2 非人称構文に関する一考察 (補説) —— デカルトのEGO
〔コラム〕人の「偉さ」／がんばるとたのしむ

初出一覧・欧文論文・翻刻・諸索引リスト／索引／あとがき



八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8

Tel:03-3291-2961 / fax:03-3291-6300 pub@books-yagi.co.jp https://catalogue.books-yagi.co.jp/

【予約受付中】刊行次第、お届けいたします！ご注文は下記にご記入の上、最寄りの書店か、または小社までお申し込み下さい。

申込書	丸山 徹 著／八木書店刊		2020年7月15日刊行	取扱店 (番線印)
	キリシタン世紀の言語学 一大航海時代の語学書一 [] 冊			
	ISBN978-4-8406-2244-8 C3081 ¥12000E 定価 (本体 12,000 円+税)			
	お名前 (ふりがな)		TEL	
	ご住所 〒		FAX	
			E-MAIL	